

日 時 : 7月23日(日) 曇り

参 加 : 榎谷、曾和、佐々木(L・記)

近鉄恩地駅に少し早めに集合でき、蒸し暑い中を気合を入れて出発(8:45)。恩地神社への道沿いは、8月1日の夏祭りに向けて準備中。大型の山車(布団太鼓)が出て、多くの人出があるようだ。山道に入り、風通しの無い登りが続く。大汗をかいて、恩地峠でやっと一息。

道標に沿って、信貴山方向に直進する。左右に良く整備された大きな墓地を見ながら進むと、樹液を付けたクヌギ(カブトムシがいっぱいそう)が立ち並ぶ小道になる。ここを抜けると、「のどか村」の開けた車道に出る。夏休みに入り、子供連れやサイクリングチームなどが集っていた。車道を避け平行した山道に入る手前で道迷いの単独ハイカーに出会う。白の防虫ネットを頭から胸まですっぽりかぶった女性。恩地神社に自転車を置いて登ってきたという。そういえば途中で我々を追い抜いて行った身なりである。信貴山寺に行きたいらしく、我々と同じルートのようなので、道案内がてら一緒に歩く事にする。結局、4人パーティーで最期の恩地まで歩く事になる。フルマラソンを走るというスポーツマンの、50才過ぎのスリムな女性。カクテルの名刺を渡してアピールすると、興味を示してくれた。連絡してくれば、嬉しいのですが!



信貴山手前の大きな池の揺れる吊橋を渡り、朝護孫子寺へ向かう。ダム湖にかかる開運橋からの開運バンジー(30m)に人だかりが出来ていた。寺入口では、名物の大きな張り子の虎が出迎えてくれる。いくつもの伽藍を通り、先ずは本堂へ。坊さんの良く通るお経を聴きながら、眺めの良い寺をバックに記念写真! 信貴山へは、本堂すぐ横の水を汲んでお百度参りする参道を上がる。鳥居の下を、けっこうな登り階段が続く。信貴山城跡(437m)で昼食(11:30~12:00)。ここから高安山へ向かう為、舗装道を一端下る。見逃しそうな小さな書き込みを見逃さずに、脇道に入る。ここからは途中に何か所か道標は有るが、ほぼ一本道。小ハエが多く、防虫スプレーが手放せない。同行の彼女(古川さん)は、防虫ネットをすっぽりかぶり重宝している。高安山への途中で、高安山城倉庫跡に寄り道して進む。信貴山城址、高安山城址の周辺には、たくさんの史跡がある。高安山への本道に出て、高安山(487.5m)で証拠写真を撮る。古川さんは、スポーツシューズなので、下りは特に気を付けてゆっくり歩いていたが、しっかりした足つきである。高安山ケーブル駅で一服し水分補給。高安山公園墓地から分岐道を下る。細い道ではあるが踏跡はしっかりしている。登りの本道に出会い恩地駅方向に下る。下りは、魚釣り池へ、さらに恩地神社本殿を右に見て歩く。古川さんとは、自転車を置いている恩地神社下でお別れする(カクテル、ホームページを見せてもらいますとの事)。今日は、大阪の地元の山を歩きました。皆さん、暑い中お疲れさんでした。

